

国語・数学の力と学習状況 結果報告

～『R3全国学力・学習状況調査（第3学年6月実施）』結果から～武生第六中学校

令和3年6月3日（木）に中学3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果と分析がまとまりましたのでお知らせします。本校は、3年生の修学旅行日程の関係上、全国での実施日5月27日（木）より後に調査を行いました。今回の結果をもとに、自分の良さに気づかせることで、子供たちの良い点はさらに伸ばし、課題については、その改善を図るとともに、自ら学ぶ姿勢を育てることで生活指導の充実や学習状況の改善等に役立てていきたいと思ひます。ご家庭でもご協力のほどよろしくお願ひします。

<◎良い傾向 ▲課題が見られたところ>

国語について（学習指導要領の4つの領域で県平均を上回りました。）

「読むこと」

◎文脈の中で語句の意味を理解したり、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解したりすることがよくできていました。

「書くこと」

◎書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことがよくできていました。

「話すこと・聞くこと」

◎話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えていることがよくできていました。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

◎文脈に即して漢字を正しく読んだり、事象や行為などを表す多様な語句について理解したりすることが県平均より高かったです。

「読むこと」

▲文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことに、やや課題が見られました。iPadを有効活用し、考える時間を確保しながら、生徒の様々な意見を収集し、共有化する授業を行っています。



【国語の平均正答率】 全国、県、本校の比較

◆福井県

●本校

全国64.6

数学について（学習指導要領の4つの領域で県平均を上回りました。）

「数と式」

◎整式の加法と減法の計算や、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することがよくできていました。

「図形」

◎扇形の中心角・弧の長さ・面積との関係や、ある条件のもとで、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することがよくできていました。

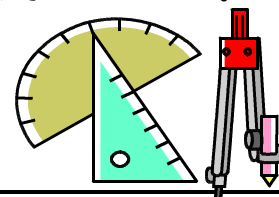
「関数」

◎関数の意味が、よく理解ができています。また、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することが県平均より高かったです。

「資料の活用」

◎相対度数の意味と必要性、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する内容が、県平均より高かったです。

▲ある事柄の特徴を数学的に説明したり、求め方を説明したりする問題に課題があります。数学の専門語を使って、理由を述べたり、成り立つ根拠を書いたりする授業を行っています。



【数学の平均正答率】 全国、県、本校の比較

◆福井県

●本校

全国57.5

生徒質問紙による学習や生活について

<家庭や地域に関すること>

◎よい傾向 ▲心配な傾向

- ▲携帯電話等の使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- ▲普段の1日あたりのテレビゲーム使用が2時間以上の生徒の割合が高い。
- ◎今住んでいる地域の行事に参加している。
- ◎朝食を毎日食べている。

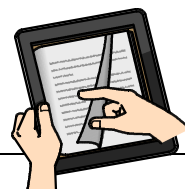


【課題に対する方策】

携帯電話やスマートフォン等で、SNS、動画視聴、ゲーム等をしている時間が長い傾向にあります。学校にもSNSルールがあり、全校生徒に対して話をしたり、保健便りや保健指導、道德等の教育活動の中で、今年度も啓発活動を継続して行ったりしていきます。

<学校に関すること>

- ▲友達と話し合うとき、友達の話を最後まで聞く割合は高いが、話し合い活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることを苦手としている傾向にあります。
- ◎1・2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を使用した頻度や、コンピュータなどの機器を活用して他の生徒と意見交換したり、調べたりしている頻度が高い。(特に、本校はほぼ毎日活用している。) また、1日にスマートフォンやコンピュータなどの機器を勉強のために使用している割合も高い。
- ◎学校へ行くのが楽しいと思っている生徒が多い。
- ◎友達と協力するのは楽しいと答えた生徒の割合が高い。

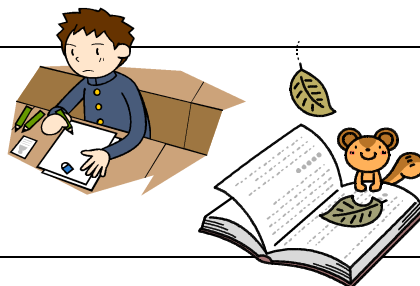


【課題に対する方策】

本校は、授業や行事を通じて生徒がほぼ毎日タブレット端末を使用しています。メタモジやチームズを使い、ペア学習やグループ学習を授業の中に取り入れ、お互いに学び合える授業作りを進めています。校内でも、タブレット研修会を開き、効果的な使用方法について紹介する場を設けています。今後も、タブレット端末を有効に活用し、自分の考えを深めたり、広げたりできるような授業をさらに進めていきます。

<自分自身に関すること>

- ▲将来の夢や目標を持っている生徒が少ない。
- ▲新聞を読んでいる割合が低い。
- ◎自分にはよいところがあると思う生徒が多い。
- ◎毎日読書をしている割合が高い。



【課題に対する方策】

将来の夢や目標を育てるために、系統的にキャリア教育を進めていきます。今年度は、2年生で起業セミナーを実施しました。外部より講師を招いて、「仕事の厳しさ」「やりがい」「生きがい」について学習するとともに、成功に結びつけるための分析や計画、実践の仕方を学び、人生をプログラミングする力を養いました。

●ご家庭でお願いしたいこと

本校は、読書に比べ、新聞を読んでいる生徒の割合が低いので、ご家庭でも今社会で話題になっていることについて話をする機会を設け、社会的なニュースに関心がもてる環境作りにご協力ください。また、ゲームやSNSをしている時間が長い傾向にありますので、ご家庭でもルールが守れるようご協力をお願いします。

(※越前市全体の結果分析については、越前市のHPからご覧ください。)

